



大切なことは“自分”が成長しているか ～埼玉県の子どもたちの学力を伸ばす取組～

令和6年2月1日（木）

埼玉県教育局 市町村支援部義務教育指導課
学力向上推進・学力調査担当

部局紹介

埼玉県教育委員会HP：<https://www.pref.saitama.lg.jp/kyoiku/index.html>

教育局 (教育委員会)

「子供たち一人一人の力を伸ばしていく」

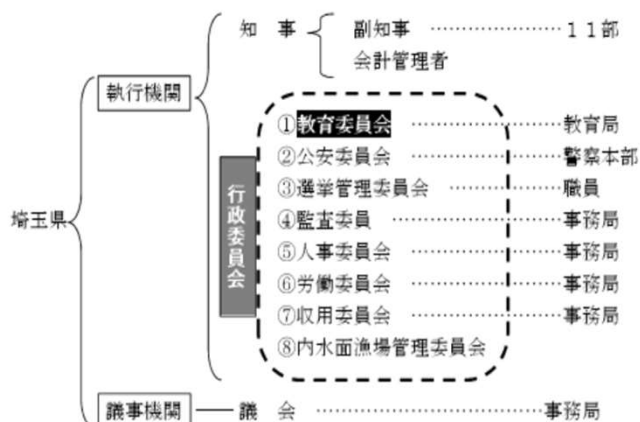
子供たちの学力の向上のために次の3つの観点を大切に、教育行政を推進しています。
子供たちが健やかに成長し、全ての子供たちが将来自立し、幸福な生涯を実現するとともに、
社会で役割を果たせるよう育てていくために、本県教育の充実に全力を尽くしています。

教育委員会の組織と仕事

教育委員会とは

教育、学術及び文化に関する事務を管理・執行するため、都道府県、市町村等に設置される合議制の執行機関。

【埼玉県の組織図】



【教育局（教育委員会）構成】

本局：教育総務部（総務課など）
 県立学校部（高校教育指導課など）
 市町村支援部（義務教育指導課など）

教育事務所：南部・西部・北部・東部

教育機関：県立学校・図書館・博物館・美術館・その他の教育機関*



* げんきプラザなど

【活躍している職種】

一般行政／司書／栄養士／学芸員／（教員）

【主な業務】

- 教育関係職員の人事・給与に関すること
- 本県における教育施策の企画及び立案並びに総合調整
- 教育関係予算及び決算に関すること
- 文化活動に関すること（埼玉県芸術文化祭など）
- 生涯学習の振興に関すること

etc...

目次

1 教育における埼玉県の役割

事業紹介

2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

3 埼玉県学力・学習状況調査の活用

4 埼玉県学力・学習状況調査の新たな取組

具体的な
仕事内容

5 担当職員の仕事内容

1 教育における埼玉県の役割

これからの時代
どのような能力を育む教育が
必要だと思いますか？

1 教育における埼玉県の役割

国の第4期教育振興基本計画

持続可能な社会の創り手の育成

- 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる
- 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

1 教育における埼玉県の役割

県の第3期埼玉県教育振興基本計画

基本理念：豊かな学びで未来を拓く埼玉教育

社会の変化を正確に予測することが困難なこれからの時代においては、主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて、新たな価値を創造し、人生や社会の未来を切り拓くことのできる力が求められます。



実現の下支えをするために
公教育の立場から「学力向上」を目指す

2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

埼玉県学力・学習状況調査の概要（平成27年度から実施）

県内の公立小・中学校等（さいたま市を除く）に在籍する
小学校第4学年から中学校第3学年の全児童生徒が対象



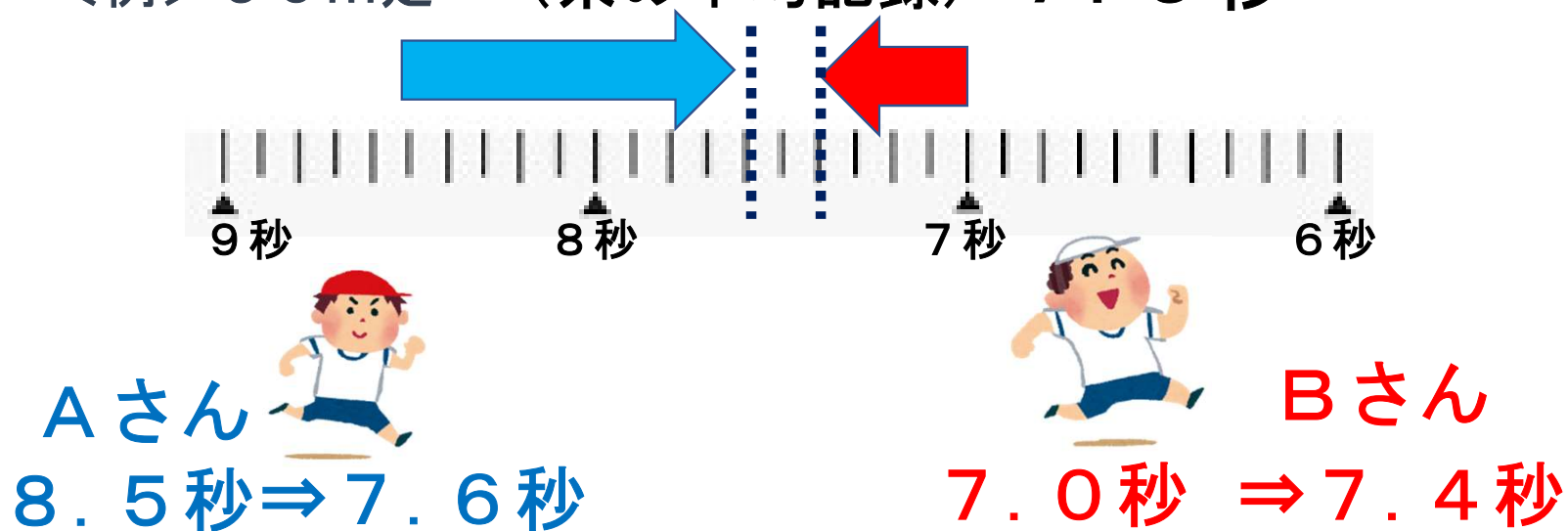
毎年約29万人が対象

		小4	小5	小6	中1	中2	中3
教 科	国語	○	○	○	○	○	○
	算数 数学	○	○	○	○	○	○
	英語	—	—	—	—	○	○
質 問 調 査		○	○	○	○	○	○

2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

埼玉県学力・学習状況調査の理念

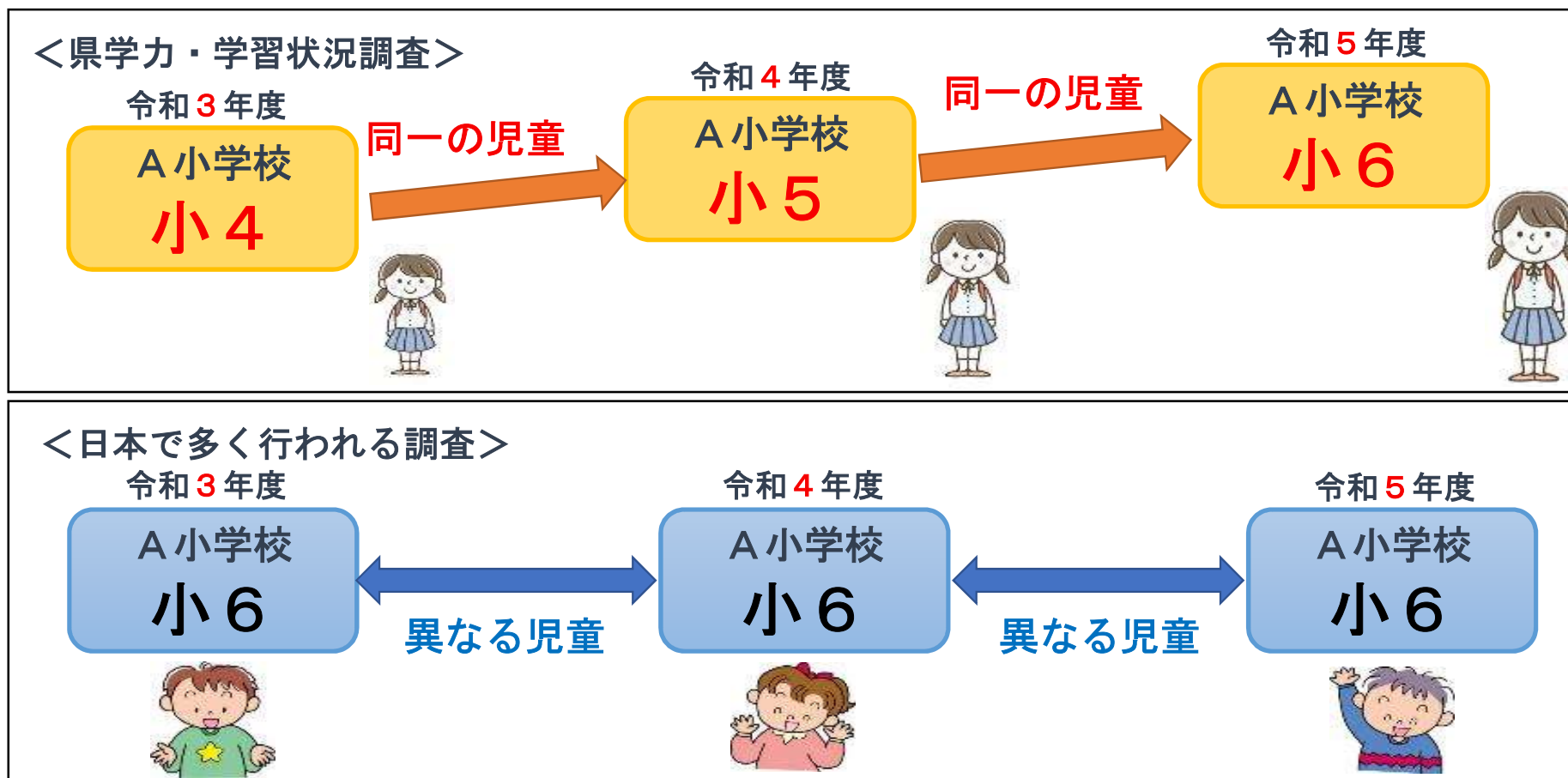
<例> 50m走… (県の平均記録) 7.5秒



一人一人の 学力の伸び を把握できる 全国初の調査

2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

仕組み1 小4から中3まで、同じ子供を継続的に調査



2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

仕組み2 異なる学年、異なる年度の調査でも比較できる

<県学力・学習状況調査>

令和4年度

小6
調査問題

A

令和5年度

小6
調査問題

B

A・Bに同一問題を入れる等
各問題の難易度を設定
※ 学力を測るものさし【有】

↓
学力の経年変化、測定可

<日本で多く行われる学力調査>

令和4年度

小6
調査問題

D

令和5年度

小6
調査問題

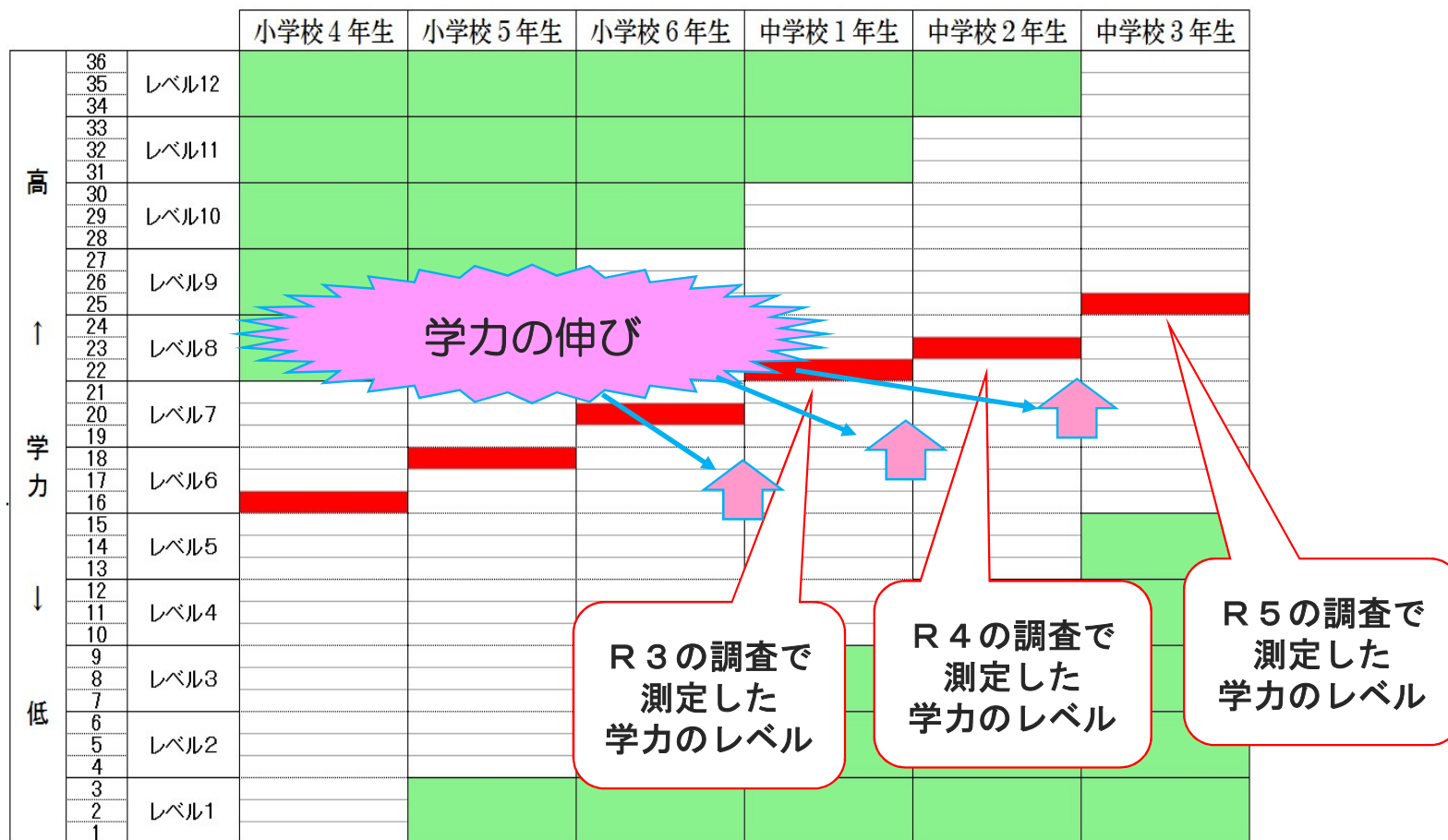
E

D・Eは独立した問題作成
各問題の難易度の調整なし

↓
学力の経年変化、測定不可

2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

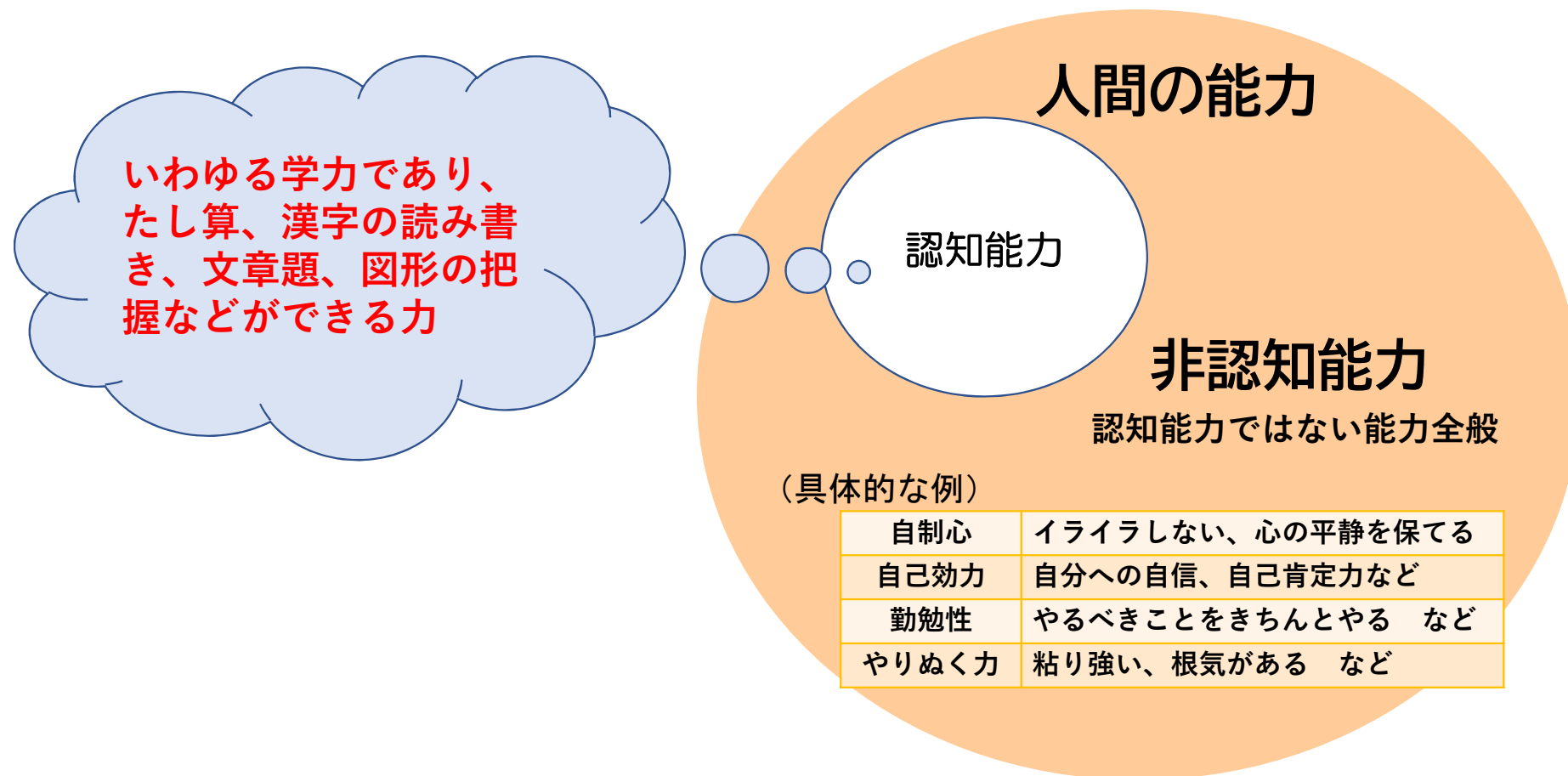
「学力の伸び」の表し方



一人一人のがんばりや伸びを認めて、褒めて、自信を深める！ → 誰一人取り残さない 11

2 埼玉県学力・学習状況調査の概要

学力以外の能力（非認知能力）も測定

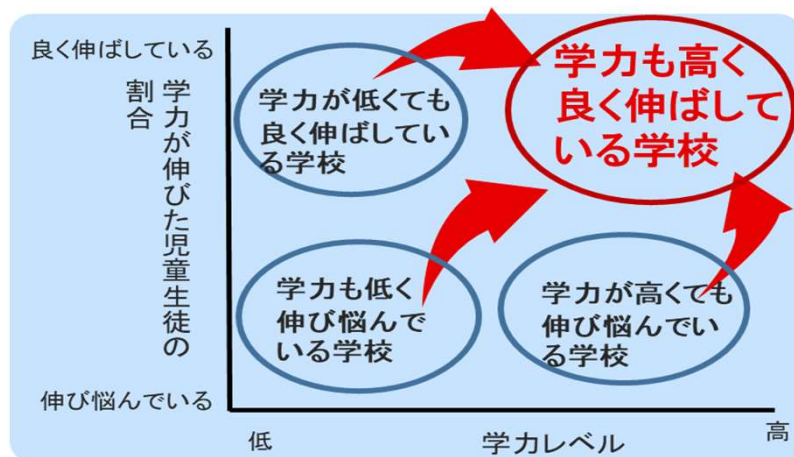


質問調査を用いて、学習に対する意識・非認知能力等を**多面的に把握**

3 埼玉県学力・学習状況調査の活用

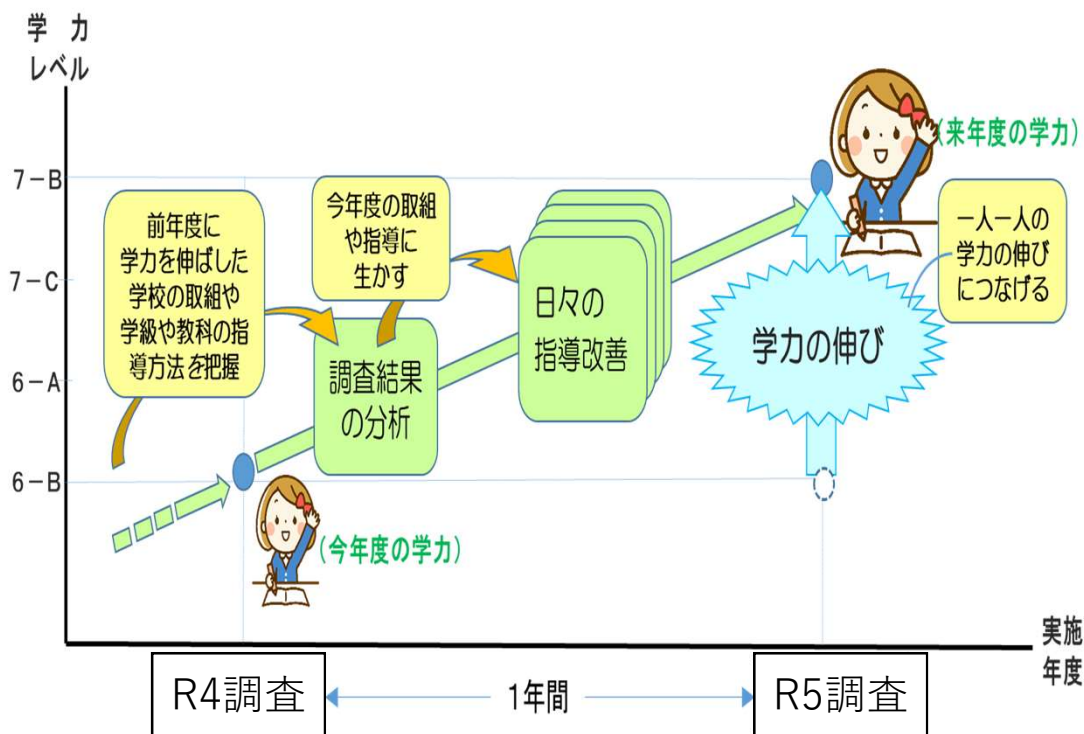
県学調を軸としたサイクル

・学力を良く伸ばしている学校が分かる



・学力を良く伸ばしている学級が分かる

前年度のクラス	「学力が伸びた児童」の割合	
	国語	算数
5-1	73.4%	96.5%
5-2	91.8%	75.1%

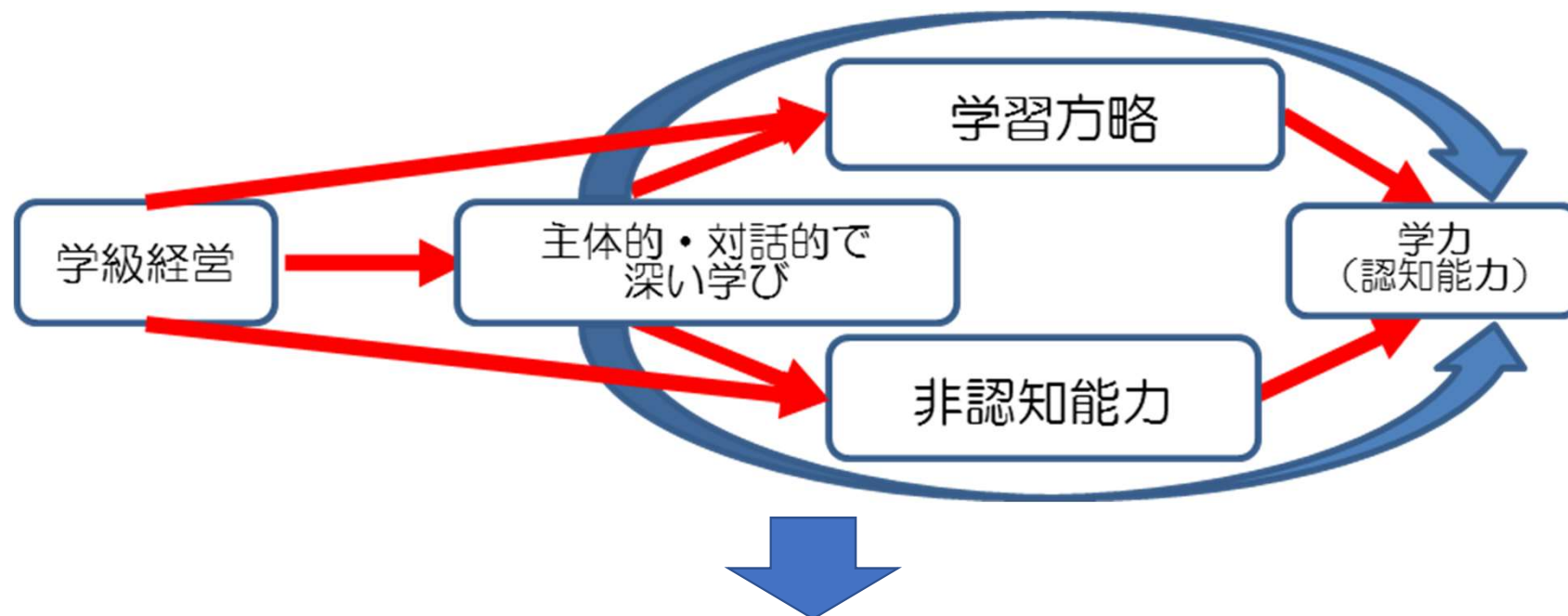


データに基づく学校・教員の指導・授業改善サイクルを確立

3 埼玉県学力・学習状況調査の活用

県学調のビッグデータを分析

「主体的・対話的で深い学び」の実施に加えて、「学級経営」が、子供の「非認知能力」「学習方略」を向上させ、子供の学力向上につながる



県学調データの分析で学力向上に向けたロジックを解析し、学校・教員を支援

4 埼玉県学力・学習状況調査の新たな取組

G I G Aスクール構想（令和元年度～）
児童生徒「1人1台端末」の環境が整備され、学習環境が変化



令和2年度で調査実施から6年目となり
長期的な事業実施を行うために、根本的な見直しを求められた



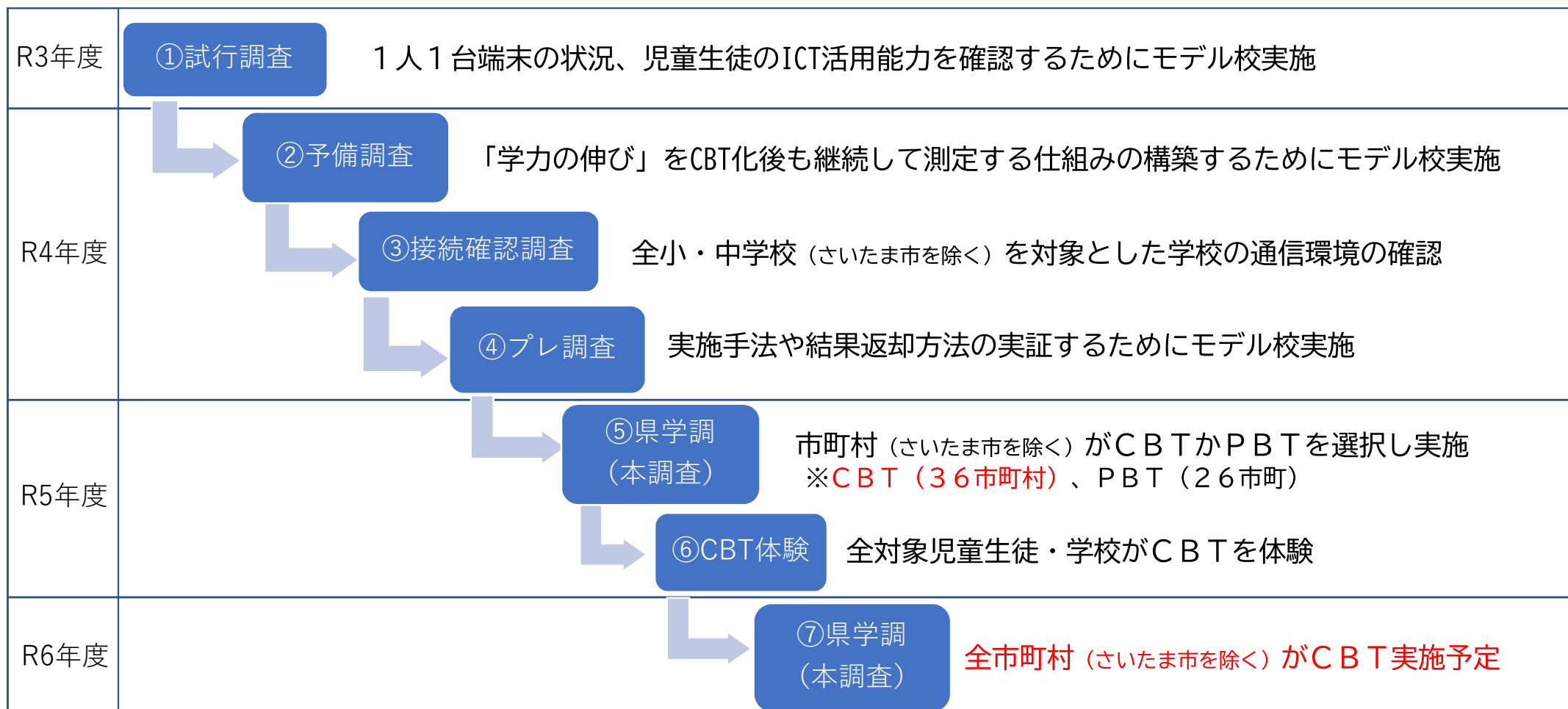
埼玉県学力・学習状況調査に改善が必要になった

従来の紙媒体での調査からC B T化を行う！

※CBT…Computer Based Testingの略で、コンピューターを使用して実施する調査

4 埼玉県学力・学習状況調査の新たな取組

CBTへの段階的な移行



4 埼玉県学力・学習状況調査の新たな取組

CBT化のメリット

【主なメリット】

◎正誤の状況に加えて解答時間等が明らかになる。

◎より実際の学習場面に即した出題が可能となる。

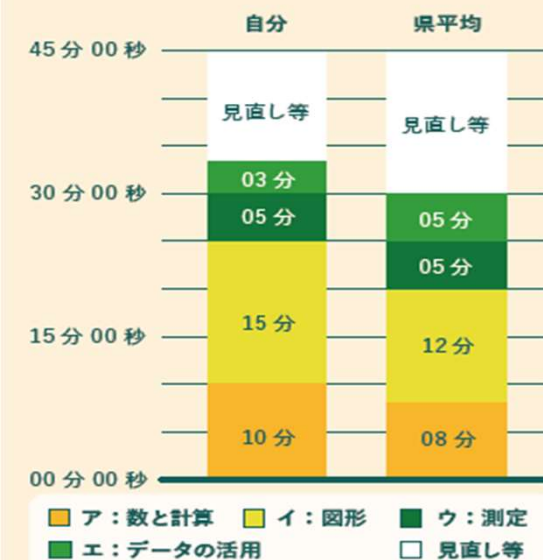
時間をかけた問題・領域別のかけた時間を返却

県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	数と計算			
問題概要	小数と整数のたし算をする			
見直し回数	7	正誤	正	県正答率
かけた時間	5分12秒	かけた時間	県平均	2分45秒

領域等	データの活用			
問題概要	棒グラフから時間を求める			
見直し回数	2	正誤	誤	県正答率
かけた時間	2分48秒	かけた時間	県平均	1分58秒

領域等別のかけた時間

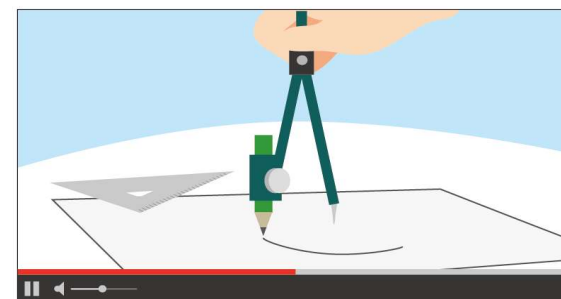


動画で出題した事例(4年生算数)

問 点ア・イ・ウを結んでできる三角形はどのような三角形ですか。

算数

問1 下の動画を見て、問題に答えましょう。



5 担当職員の業務内容

学力調査担当のメンバーと行政職員の役割

グループリーダー 行政職員	
サブリーダー 教員	教員
教員	教員
行政職員 (説明者)	教員

行政職員の役割

- ・ 契約書・仕様書などの行政文書の作成
- ・ 新規事業の検討
- ・ 企業と事業内容・事業金額の調整
- ・ 事業の予算確保
- ・ 学力調査運営の補助

7人が一つのチームとなり、県学調に関する全ての業務を行う。

ご清聴ありがとうございました。